



# ようこそ！ 市長室へ

38



## お祭りが地域の絆をつなぐ

夏本番です。市内各所で行われる、無病息災などを願う伝統的なお祭りに参加して、故郷ならではの思い出をつくりましょう！

帷子石原地区の建速神社で行なわれる提灯祭り。1年の無事を願う12個の赤提灯を中心に、家族の無事を祈って各家から持ち寄られた白提灯が、闇夜の境内に浮かび上がります。兼山下町地区の虫送りには、夏の恐ろしい病気や害虫を追い払うため、病気や厄神などを乗り移らせた人形を船に乗せ、木曾川へ流します。土田地区の白鬚神社では、無病息災を祈る輪くぐり祭りがあります。祭壇や茅の輪などが設置された境内の様子に、子どもでも神聖な雰囲気を感じることでしよう。観光的な派手さは

ありませんが、それだけに、素材な先人の思いが伝わってきます。そして可児の奇祭、洞窟夏祭り。羽崎のお千代保稲荷にある、戦時

中の軍需工場跡の洞窟を使って開催されます。私が調べた限りでは、戦争遺跡を使用したお祭りは、日本でもここだけです。奥行きのある洞窟は、ひんやりとした空気が流れていて、涼しいですよ。毎年大盛況の可児夏まつりは、8月13日、14日に開催されます。可児の美味しいグルメが食べられる物産展や、お化け屋敷など楽しい企画が満載です。また、戦国城跡巡り事業の一環として展開しているチャンバラ合戦も14日に行います。新聞紙を丸めて遊んだ子ども頃の思い出して、親子連れで

参加してみませんか。各地で行われる盆踊りのはしごも楽しみです。五穀豊穡を願い、ご先祖様に感謝する盆踊りも、かつては大切な婚活の場でした。女性も男性も、浴衣姿で日頃とは違う魅力をまといましょ。

伝統的なお祭りもあれば、新たに始まったイベントもあります。今年で6回目を迎え、年々人気が高まっている帷子花火大会は、その好例です。地域を盛り上げたいという思いから、有志の皆さんが始められたイベントも、続けられることで地域の大切な伝統になっていきます。可児市民の皆さんには、伝統を守っていく力がある一方で、新たなものを生み出す力もあると大変誇らしく思います。

お祭りは娯楽であると同時に、集落の結束を強める大切な役割があります。お祭りを通じてつながりを深めることが、地域の支え合いを守り、防犯、防災にもつながっていきます。それが日本に古くから伝わり、次の世代に引き継がなければならない、大切な精神だと思えます。

可児市長 町見成伸



輪くぐり祭り 7/31



虫送り 7/31



提灯祭り 7/16



洞窟夏祭り 7/23,24